

令和 8 年度
都市再生協議会 第 1 回会合 議事概要

1 会合概要

開催日時：令和 8 年 8 月 25 日（火）13：30～15：30

開催場所：今治市役所本館 2 階 庁議室

開催目的：今治市中心市街地グランドデザインに基づく都市再生に向けた議論

主なテーマ：広小路（今治港線）の再編整備と社会実験の検討、商店街、ネウボラ
拠点施設、合同庁舎整備、今治港港湾改修、その他

2 発言概要

（1）広小路（今治港線）の再編整備と社会実験の検討について

- ・中央広場の使われ方によって人の流れが変わってくるため、活用の検証も必要。
- ・クスノキは大きくなっており、今まで以上に適正な管理が必要になる。
- ・荷捌き車が矢羽根部分に停車している場合、自転車が車道側に出ることで、自動車との接触事故の恐れがある。
- ・中央に歩行者空間ができる場合、現在の歩道の半分を自転車レーンにするなど柔軟な検討をする必要がある。
- ・大型バスの維持管理費等を踏まえ、社会実験では小型・EV バスを導入し、乗りやすさや利便性を体験してもらうことも有効ではないか。
- ・広小路の再整備には賛成であり、課題を解決しながら前に進めていくことが重要。
- ・社会実験では、外国の方もチャレンジできる仕掛けの検討も必要。
- ・広小路を単体でとらえるのではなく、港や駅、シビックゾーンをつなぐ軸として考えることが重要。

（2）商店街について

- ・商店街は、通行許可車両、無断通行車両が多数いる。車両が低速で走行し、出店しやすい環境に向けたデザインを検討できるとよい。
- ・広小路のデザインは良いものであり、商店街への回遊も想定される。将来的なアーケード撤去も見据え、撤去時を待つのではなく、道路空間のデザインを今から検討していく必要がある。
- ・社会実験期間中に商店街で「今治銀座横丁」を実施し、常設店舗の創出につなげ、日常的な賑わいを生み出していきたい。出店可能な場所を増やすとともに、建替え等による新たな店舗づくりを、できるところから進めていきたい。
- ・商店街をブロックごとに分け取り組んでいくことを検討できるとよい。

（3）ネウボラ拠点施設について

- ・ネウボラ拠点施設は事業者選定を行い、9月10日に優先交渉権者の発表を予定している。

- ・ネウボラ拠点施設は、中心市街地での公共事業で最初の竣工であり、PR等が重要になる。

（４）合同庁舎整備について

- ・合同庁舎について、現時点で順調に進んでおり、MICEなど周辺施設と併せた活用も含め、施設を有効活用しながら、究極のワンストップサービスの実現に向けて進めていきたい。

（５）今治港港湾改修について

- ・港にシンボルや海での遊びの要素ができるとよい。

（６）その他

- ・広小路だけではなく商店街も含め、中心市街地への居住誘導を進め、住み続けられるまちづくりを進めることが重要ではないか。

- ・せとうちみなとマルシェは、4年目を迎え、平均1万人が来場している。商店街の活性化に向け、今後も取り組んでいく。

- ・文化度の高いものを作り、県外から観光客が来るまちづくりを行うことが重要。